



永田クラブ、経済研究会へ貼り出し

平成 21 年 4 月 1 日  
内閣府沖縄振興局

## 内閣府において予算計上を行う公共事業評価の結果について

1. 内閣府は、沖縄振興開発事業について、
  - ① 事業採択後一定期間経過した公共事業についての再評価（別紙 1）、
  - ② 新規公共事業の採択段階評価（別紙 2）を実施した。
2. 再評価対象事業 73 件（直轄 5 件、補助 68 件）中  
事業を継続するもの 72 件  
事業を中止するもの 1 件
3. 新規採択時評価 25 件（直轄 1 件、補助 24 件）

### 問い合わせ先：

#### ○総括的な事項について

沖縄振興局総務課課長補佐 中原 健一

電話：（代表）5253-2111（内線）44407 （直通）3581-9751

沖縄振興局総務課調整係長 内藤 浩司

電話：（代表）5253-2111（内線）44411 （直通）3581-9751

#### ○治水、道路、都市公園又は下水道について

沖縄振興局参事官補佐（振興第一担当） 本間 誠

電話：（代表）5253-2111（内線）44431 （直通）3581-1993

沖縄振興局参事官（振興第一担当）付主査 會津 悟

電話：（代表）5253-2111（内線）44435 （直通）3581-1993

#### ○農業農村整備又は水産基盤整備について

沖縄振興局参事官補佐（振興第二担当） 白坂 進一

電話：（代表）5253-2111（内線）44441 （直通）3581-1588

#### ○港湾について

沖縄振興局参事官補佐（振興第三担当） 大野 靖

電話：（代表）5253-2111（内線）44451 （直通）3581-1639

#### ○水道について

沖縄振興局総務課事業振興室専門官 柳田 貴広

電話：（代表）5253-2111（内線）44421 （直通）3581-1365

## 再評価を実施した事業

## 1 直轄事業(沖縄総合事務局) 5件

## (治水) 1件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興計画推進の視点からの評価
1	沖縄北西部河川総合開発事業(大保ダム・奥間ダム・比地ダム)(国頭村、大宜味村)	平成2年度 1, 555億円	大保川及び比地川の洪水調節を行うとともに、流水の正常な機能の維持、水道用水の供給を図る。	大保ダムの試験湛水を実施し、平成22年度供用開始を目指す。奥間ダム、比地ダムについては、必要な調査等を実施し、事業の進捗を図る。	島しょ性や県土の厳しい地形・気象条件のもと、台風や集中豪雨による自然災害から生命と財産を守るとともに、安定的に水道用水を確保し、安全で快適な住み良い生活環境を確保する事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。

## (道路) 3件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興計画推進の視点からの評価
2	一般国道58号 恩納バイパス (恩納村)	平成元年度 270億円	本県有数のリゾート地である当地区の観光シーズンにおける交通混雑の緩和及び沖縄自動車道へのアクセス向上により沿道環境の改善、観光産業の支援を図ることを目的として、沖縄県国頭郡恩納村字瀬良垣から沖縄県国頭郡恩納村字南恩納に至る延長5. 1kmの道路を整備する。	未買収用地の取得及び工事を促進し、平成22年度の全線暫定供用を図るとともに、早期の事業完了を図る。	地域間の連携強化、産業振興に寄与する事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
3	一般国道58号 嘉手納バイパス (嘉手納町)	昭和62年度 215億円	一般国道58号読谷村から嘉手納町間の慢性的な交通混雑の緩和及び周辺観光施設へのアクセス向上、地域開発プロジェクトの支援を目的として、沖縄県中頭郡読谷村字古堅から沖縄県中頭郡嘉手納町字兼久に至る延長3. 2kmの道路を整備する。	ルート変更を前提に関係機関との協議を進め、早期の事業進捗による事業効果発現及び事業費削減を図る。	地域間の連携強化、産業振興に寄与する事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
4	一般国道331号 宜野座改良 (宜野座村)	平成2年度 55億円	交通安全の確保、幹線道路としての機能向上を目的として、沖縄県国頭郡宜野座村字宜野座から沖縄県国頭郡宜野座村字漢那に至る延長2. 7kmの道路の平面及び縦断線形の改良を行う。	平成21年3月の延長1.1kmの部分供用に続いて、早期の事業完了を図る。	地域間の連携強化、産業振興に寄与する事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。

## (都市公園) 1件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興計画推進の視点からの評価
5	国営沖縄記念公園 (本部町、那覇市)	昭和50年度 1, 170億円	本公園は、昭和50年に開催された沖縄国際海洋博覧会を記念しその跡地に設置された海洋博覧会地区と、沖縄の本土復帰記念事業の一環として設置された首里城地区の2地区からなり、海洋博覧会地区は「太陽と花と海」をテーマとする大規模な熱帯・亜熱帯公園として、首里城地区は新たな県民文化の創出と伝統技術の継承を図る歴史的風土探訪の場として、それぞれの地区の基本方針に基づき整備、管理運営を行っている。	海洋博覧会地区は、平成20年5月に策定した「海洋博公園基本計画」に基づき整備を図る。首里城地区は、引き続き御内原地区の整備により、首里城の復元の推進を図る。	沖縄の持続的な観光振興の中核となる公園として、また沖縄の歴史・文化の拠点となる魅力ある公園として、今後とも整備を、周辺地域とも連携し、時代の変化に対応しつつ図っていく必要があり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。

## 2 補助事業(沖縄県又は市町村) 68件

(治水) 5件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興計画推進の視点からの評価
6	ヨクバガワ 国場川広域基幹河川改修事業 (那覇市、南風原町) 【県事業】	昭和47年度 370億円	国場川は、南風原町及び那覇市の市街地を流れ那覇港に注ぐ、流域面積43km <sup>2</sup> の沖縄県では大きな都市河川であるが、狭小な河川断面や大きく蛇行する線形のため浸水被害が多発していることから、沿川住民の生命と財産を守ることを目的に昭和47年度から河川改修事業を進めている。改修計画延長8.25kmのうち、平成20年度までに約6.2kmの整備を概成している。	未買収用地の取得及び工事を促進し、平成27年度の事業完了を図る。	災害に強く、快適で住みよい生活環境の確保に寄与する事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
7	ノハガワ 饒波川広域基幹河川改修事業 (豊見城市) 【県事業】	昭和47年度 90億円	饒波川は、豊見城市的市街地に位置する流域面積14.6km <sup>2</sup> の都市河川であるが、河川断面が狭小なため浸水被害が多発していることから、沿川住民の生命と財産を守ることを目的に昭和47年度から河川改修事業を進めている。改修計画延長4.45kmのうち、平成20年度までに約3.3kmの整備を概成している。	未買収用地の取得及び工事を促進し、平成25年度の事業完了を図る。	災害に強く、快適で住みよい生活環境の確保に寄与する事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
8	アジャガワ 安謝川広域基幹河川改修事業 (那覇市、浦添市) 【県事業】	昭和47年度 107億円	安謝川は、那覇市・浦添市の市街地を流れる流域面積8.1km <sup>2</sup> の都市河川であるが、河川断面が狭小なため浸水被害が多発していることから、沿川住民の生命と財産を守ることを目的に昭和47年度から河川改修事業を進めている。改修計画延長3.6kmのうち、平成20年度までに約2.3kmの整備を概成している。	未買収用地の取得及び工事を促進し、平成27年度の事業完了を図る。	災害に強く、快適で住みよい生活環境の確保に寄与する事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
9	ヒジャガワ 比謝川広域基幹河川改修事業 (沖縄市、嘉手納町) 【県事業】	昭和54年度 200億円	比謝川は、沖縄市の市街地を流れる流域面積49.6km <sup>2</sup> の都市河川であるが、蛇行した狭小な河川のため浸水被害が多発していることから、沿川住民の生命と財産を守ることを目的に昭和47年度から河川改修事業を進めている。改修計画延長13.2kmのうち、平成20年度までに約7.4kmの整備を概成している。	未買収用地の取得及び工事を促進し、平成30年度の事業完了を図る。	災害に強く、快適で住みよい生活環境の確保に寄与する事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
10	アサトガワ 安里川広域基幹河川改修事業 (那覇市) 【県事業】	昭和47年度 387億円	安里川は那覇市の中心市街地を流れる流域面積8.57km <sup>2</sup> の都市河川であるが、蛇行した狭小な河川のため過去に浸水被害が多発していることから、沿川住民の生命と財産を守ることを目的に昭和47年度から河川改修事業を進めている。改修計画延長4.64kmのうち、平成20年度までに約1.1kmの整備を概成している。	未買収用地の取得及び工事を促進し、早期の事業完了を図る。	災害に強く、快適で住みよい生活環境の確保に寄与する事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適當である。

## (港湾海岸) 1件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興計画推進の視点からの評価
11	ナカグスク 中城湾港海岸高潮対策事業(与那原町、 ヨナバル チョウ ナンジョウシン ナカグスクン 南城市、中城村) 【県事業】	平成11年度 27億円	中城湾港において、老朽化した海岸施設について、台風等による被災から地域住民の安全・安心の確保を図るために整備を進めている。	施設整備を促進し、事業の早期完成を図る。	自然災害から県民の生命と財産を守り、安全で快適な住みよい生活環境を確保するための事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。

## (道路) 9件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興計画推進の視点からの評価
12	主要地方道 糸満与那原線(与那原工区) (ヨナバル チョウ 【県事業】)	平成11年度 74億円	主要地方道糸満与那原線(与那原工区)道路改築事業は、国道331号を起点とし中城湾港マリンタウンプロジェクトの西原与那原地区を直結し国道329号与那原バイパスを終点とする1.3kmの区間である。当該箇所を整備することにより、同プロジェクトを支援するとともに、慢性的に渋滞している与那原交差点の渋滞緩和にも大きく寄与するものである。	未買収用地の取得を促進し、早期供用を図る。	円滑な交通の確保及び安全で快適な道路環境の整備に寄与する事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
13	一般県道 高野西里線 (宮古島市) 【県事業】	平成6年度 52億円	一般県道高野西里線は、宮古島市の郊外部を東西に横断し、主要地方道保良西里線と国道390号を結ぶ重要な路線である。当該路線の拡幅整備により、空港へのアクセス機能を強化し特色ある景観を形成し、リゾート観光産業の振興や地域活性化を支援するものである。	未買収用地の取得を促進し、早期供用を図る。	円滑な交通の確保及び安全で快適な道路環境の整備に寄与する事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
14	主要地方道 宜野湾北中城線 (キタナカグスクン 【県事業】)	平成11年度 135億円	主要地方道宜野湾北中城線は、国道58号、国道330号、国道329号を連絡する中部圏域の東西道路として、また、沖縄自動車道のインターフェース及び中城湾港新港地区等へのアクセス道路として重要な路線であり、中部圏域の産業基盤を支援するとともに、近年の交通量の増加に伴う交通渋滞の緩和を図るものである。	未買収用地の取得を促進し、早期供用を図る。	円滑な交通の確保及び安全で快適な道路環境の整備に寄与する事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
15	3・4・85号 龍潭線 (那覇市) 【県事業】	平成11年度 91億円	那覇市の中心部を通る幹線道路であるが、幅員狭小等により、車両と歩行者が混在し、交通安全上も危険な状況にあることから、本区間を整備することにより、円滑な交通の確保及び安全・快適な歩行空間の形成に寄与する。	未買収用地の取得を促進し、平成22年度の全線供用を図る。	円滑な交通の確保及び安全で快適な道路環境の整備に寄与する事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
16	牧志壺屋線(1工区) (那覇市) 【那覇市事業】	平成6年度 92億円	那覇市の中心部に位置する補助幹線道路であり、那覇市中心市街地活性化基本計画に位置付けられ、安心歩行エリア国際通り南地区内の道路でもあることから、本区間を整備することにより、中心市街地の活性化及び安全・快適な歩行空間の形成に寄与する。	未買収用地の取得を促進し、平成21年度の全線供用を図る。	地域間の連携強化、産業振興に寄与する事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
17	キンジョウ ニシ 金城 西線(首里金城 地区) (那覇市) 【那覇市事業】	平成6年度 20億円	那覇市の首里金城地区都市景観形成地域に位置する道路であり、周辺は住宅が密集しているにもかかわらず幅員狭小な生活道路しか存在しないことから、本道路を整備することにより、地区内の住居環境の改善及び防災機能の向上に寄与する。	工事を促進し、平成23年度の全線供用を図る。	良好な住環境の形成、魅力あるまちづくりに寄与する事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。

18	ミヤヒラ 宮平学校線(1工区) (ハエバハレチヨウ) (南風原町) 【南風原町事業】	平成11年度 48億円	国道329号と県道宜野湾南風原線を結ぶ補助幹線道路であり、沿線には文教施設が位置していることから、本区間を整備することにより、円滑な交通の確保及び安全・快適な歩行空間の形成に寄与する。	未買収用地の取得を促進し、平成25年度の全線供用を図る。	地域間の連携強化、産業振興に寄与する事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
19	中心市街地土地区画整理事業 (豊見城市) トミグスクシ 【豊見城市事業】	平成6年度 170億円	本地区は、豊見城市のほぼ中央に位置し、農地、遊休地、一部にスプロール市街地が形成されている状況であった。那覇都心圏における旺盛な宅地需要への対応と市の活性化のため、土地区画整理事業を行い、公共施設の整備改善、機能的な都市核形成及び快適な住宅市街地形成を図る。	地価下落等の社会経済状況の変化による事業計画の見直しに際して、地権者間の合意を得ることが困難となつたため、本事業を中止する。なお、街路事業等を利用した地区整備を行うことは適当である。	良好な住環境の形成、魅力あるまちづくりに寄与する事業ではあるが、事業執行が困難であることより、本事業を中止し、街路事業等を利用した地区整備を行うことは適当である。
20	マカビフルジマ 真嘉比古島第二土地区画整理事業 (那覇市) ナハシ 【那覇市事業】	昭和59年度 481億円	本地区は、那覇市中心市街地の至近距離に位置するが、都市基盤整備の立ち遅れにより、地区のほぼ全域にわたってスプロール現象が発生し、居住環境が悪化した状況であった。このため土地区画整理事業により、公共施設の整備改善、良好な宅地の造成及び健全な市街地の形成を図る。	移転補償、工事を促進し、早期の事業完了を図る。	良好な住環境の形成、魅力あるまちづくりに寄与する事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。

(港湾) 2件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興計画推進の視点からの評価
21	イシガキコウシンコウ 石垣港新港地区港湾緑地整備事業(石垣市) インガキシ 【石垣市事業】	平成5年度 24億円	石垣港新港地区において、港湾の環境改善等を図るため、港湾緑地を整備する。	施設整備を促進し、事業の早期完成を図る。	物流、生活空間等の諸機能が調和した質の高いウォーターフロント空間を形成する事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために本事業を継続することは適当である。
22	マエドマリコウマエドマリ 前泊港前泊地区防波堤整備事業(伊平屋村) ヘヤン 【県事業】	平成6年度 74億円	前泊港において、港内静穏度の向上を図り、船客乗降時の安全性や利便性を向上させるとともに、荷役作業の安全性や効率性の確保のため、防波堤を整備する。	施設整備を促進し、事業の早期完成を図る。	海上交通の安全性・安定性の確保を目的とした事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。

(都市公園) 5件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興計画推進の視点からの評価
23	パンナ公園 (沖縄県営公園(広域公園)) インガキシ (石垣市) 【県事業】	昭和53年度 196億円	ゆとりとうるおい、広域レクリエーション需要の高まり等、県民の多様化するニーズに対応するために、自然保護を図りながら、緑とふれあい、交流を広げる場、津波襲来時の避難地等、多くの県民に広域的に利用できる公園の整備を推進する。	橋梁の耐震化、老朽化した遊具等の再整備等を実施し、平成25年度の事業完了を図る。	市民や県民・来訪者の交流を育むレクリエーション活動を広げる場となり、都市防災の拠点ともなる公園として整備する必要がある。沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
24	オウノヤマ 奥武山公園 (沖縄県営公園(運動公園)) ナハシ (那覇市) 【県事業】	昭和47年度 152億円	県民の健康志向の高まりや、余暇利用の多様化に伴うニーズに対応するために、スポーツレクリエーションや交流を広げる場として多くの県民に広域的に利用できる公園の整備を推進する。	老朽化した施設等の再整備を実施し、平成23年度の完成に向け事業の推進を図る。	県民の健康活動の場となり、スポーツ振興を進めるための緑地であり、スポーツアイランド沖縄を推進する公園として整備する必要がある。沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。

25	ノダケダイチ 野嵩第一公園 (宜野湾市営公園(近隣公園)) (宜野湾市) ギンバン 【宜野湾市事業】	昭和63年度 33億円	周辺部が住宅地中心の土地利用である中で数少なくなった緑地地帯であり、自然と文化が共存しあい、潤いのあるまちづくりのために、この貴重な緑を生かし、地域住民の憩いの場、レクリエーションの場となる公園の整備を図る。	未買収用地の取得等を促進し、平成24年度の事業完了を図る。	地域住民の憩いの場、災害時の避難場所、リクリエーション活動の拠点を整備するものであり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
26	ウラソエ 浦添カルチャーパーク (浦添市営公園(総合公園)) (浦添市) ウラソエシ 【浦添市事業】	昭和62年度 156億円	市民の文化活動及び生きがい活動の拠点として位置づけられ、市民の総意に満ちた人間性豊かな教育の発展、文化の高揚に寄与し、快適な都市環境を確保するとともに災害時の避難地としても利用する公園の整備を図る。	未買収地の取得を促進し、事業の推進を図る。	公園敷地内に既存施設として市における重要な文化施設等があり、快適な都市環境等を確保するものであり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
27	ヨチンダウンドウ 東風平運動公園 (八重瀬町営公園(運動公園)) (八重瀬町) ヤエセチヨウ 【八重瀬町事業】	昭和57年度 86億円	多様化した住民ニーズに対応するため、町民の融和、豊かな暮らし、体力向上と健康増進を図る場として、スポーツの振興、社会体育の発展、レクリエーションの拠点の整備を図る。	公園へのアクセス道路の用地取得等を促進し、事業進捗を図る。なお、事業の縮小、見直しにより事業費削減を図る。	町民及び県民が、スポーツに親しむ環境を整備し、スポーツ振興と青少年健全育成に寄与するものであり、沖縄振興計画計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。

(下水道) 43件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興計画推進の視点からの評価
28	チオウブ 中部流域下水道事業(那覇処理区) (那覇市、浦添市、豊見城市、南風原町) ナハ ナハシ ウラソエシ トグスクン ハエバルチヨウ 【県事業】	昭和47年度 995億円	沖縄本島南部の那覇市を中心とした処理区域の都市環境の整備と公衆衛生の向上に寄与するとともに、公共用水域の水質保全を図るため、下水道整備を図る。平成19年度における下水道処理人口普及率は約65%である。	事業を促進し、平成40年度の事業完了を図る。	快適な生活環境の確保と併せて、河川・海域等の水質保全を図り、豊かな自然環境を保全するためには、下水道整備を推進する必要がある。沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
29	チュウブ 中部流域下水道事業(伊佐浜処理区) (宜野湾市、浦添市、沖縄市、読谷村、 嘉手納町、北谷町、北中城村、西原町、 ナカグスクン 中城村) イ サハマ ギンバン ウラソエシ オキナワシ ヨミタンソン カバナチヨウ チャタンチヨウ キタナカグスクン ニシハラチヨウ ナカグスクン 中城村) 【県事業】	昭和47年度 1,289億円	沖縄本島中部の西海岸側を対象とした処理区域の都市環境の整備と公衆衛生の向上に寄与するとともに、公共用水域の水質保全を図るため、下水道整備を図る。平成19年度における下水道処理人口普及率は約65%である。	事業を促進し、平成40年度の事業完了を図る。	快適な生活環境の確保と併せて、河川・海域等の水質保全を図り、豊かな自然環境を保全するためには、下水道整備を推進する必要がある。沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
30	ナカグスクン 中城湾流域下水道事業(具志川処理区) (うるま市、沖縄市、北中城村) グシカラ オキナワシ キタナカグスクン 【県事業】	昭和58年度 449億円	沖縄本島中部の東海岸側を対象とした処理区域の都市環境の整備と公衆衛生の向上に寄与するとともに、公共用水域の水質保全を図るため、下水道整備を図る。平成19年度における下水道処理人口普及率は約65%である。	事業を促進し、平成32年度の事業完了を図る。	快適な生活環境の確保と併せて、河川・海域等の水質保全を図り、豊かな自然環境を保全するためには、下水道整備を推進する必要がある。沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
31	ナハシ 那覇市公共下水道事業(那覇処理区) (那覇市) ナハ 【那覇市事業】	昭和47年度 551億円	中部流域下水道(那覇処理区)の関連公共下水道として、都市環境の整備と公衆衛生の向上に寄与するとともに、公共用水域の水質保全を図るため、下水道整備を図る。平成19年度における下水道処理人口普及率は約89%である。	事業を促進し、平成40年度の事業完了を図る。	快適な生活環境の確保と併せて、河川・海域等の水質保全を図り、豊かな自然環境を保全するためには、下水道整備を推進する必要がある。沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。

32	ナハシ 那覇市公共下水道事業(安里川排水区他) ナハシ (那覇市) ナハシ 【那覇市事業】	アサトガワ 昭和47年度 427億円	安里川排水区等における浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するため、下水道整備を図る。	事業を促進し、平成40年度の事業完了を図る。	浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するためには、下水道整備を推進する必要がある。沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
33	ギノワシ 宜野湾市公共下水道事業(伊佐浜処理区) ギノワシ (宜野湾市) ギノワシ 【宜野湾市事業】	イサハマ 昭和45年度 208億円	中部流域下水道(伊佐浜処理区)の関連公共下水道として、都市環境の整備と公衆衛生の向上に寄与するとともに、公共用水域の水質保全を図るため、下水道整備を図る。平成19年度における下水道処理人口普及率は約91%である。	事業を促進し、平成48年度の事業完了を図る。	快適な生活環境の確保と併せて、河川・海域等の水質保全を図り、豊かな自然環境を保全するためには、下水道整備を推進する必要がある。沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
34	ギノワシ 宜野湾市公共下水道事業(伊佐浜排水区) ギノワシ (宜野湾市) ギノワシ 【宜野湾市事業】	イサハマ 昭和45年度 9.7億円	伊佐浜排水区における浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するため、下水道整備を図る。	事業を促進し、平成30年度の事業完了を図る。	浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するためには、下水道整備を推進する必要がある。沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
35	ギノワシ 宜野湾市公共下水道事業(伊佐排水区) ギノワシ (宜野湾市) ギノワシ 【宜野湾市事業】	イサ 昭和45年度 37億円	伊佐排水区における浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するため、下水道整備を図る。	事業を促進し、平成30年度の事業完了を図る。	浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するためには、下水道整備を推進する必要がある。沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
36	ギノワシ 宜野湾市公共下水道事業(大山排水区) ギノワシ (宜野湾市) ギノワシ 【宜野湾市事業】	オオヤマ 昭和45年度 11億円	大山排水区における浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するため、下水道整備を図る。	事業を促進し、平成30年度の事業完了を図る。	浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するためには、下水道整備を推進する必要がある。沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
37	ギノワシ 宜野湾市公共下水道事業(宇地泊川排水区) ギノワシ (宜野湾市) ギノワシ 【宜野湾市事業】	ウチドマリガワ 昭和45年度 44億円	宇地泊川排水区における浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するため、下水道整備を図る。	事業を促進し、平成30年度の事業完了を図る。	浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するためには、下水道整備を推進する必要がある。沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
38	ウラソエシ 浦添市公共下水道事業(那覇処理区) ウラソエシ (浦添市) ウラソエシ 【浦添市事業】	ナハ 昭和45年度 50億円	中部流域下水道(那覇処理区)の関連公共下水道として、都市環境の整備と公衆衛生の向上に寄与するとともに、公共用水域の水質保全を図るため、下水道整備を図る。平成19年度における下水道処理人口普及率は約97%である。	事業を促進し、平成30年度の事業完了を図る。	快適な生活環境の確保と併せて、河川・海域等の水質保全を図り、豊かな自然環境を保全するためには、下水道整備を推進する必要がある。沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
39	ウラソエシ 浦添市公共下水道事業(伊佐浜処理区) ウラソエシ (浦添市) ウラソエシ 【浦添市事業】	イサハマ 昭和45年度 84億円	中部流域下水道(伊佐浜処理区)の関連公共下水道として、都市環境の整備と公衆衛生の向上に寄与するとともに、公共用水域の水質保全を図るため、下水道整備を図る。平成19年度における下水道処理人口普及率は約97%である。	事業を促進し、平成30年度の事業完了を図る。	快適な生活環境の確保と併せて、河川・海域等の水質保全を図り、豊かな自然環境を保全するためには、下水道整備を推進する必要がある。沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
40	ウラソエシ 浦添市公共下水道事業(小湾川排水区他) ウラソエシ (浦添市) ウラソエシ 【浦添市事業】	コワングワ 昭和47年度 49億円	小湾川排水区等における浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するため、下水道整備を図る。	事業を促進し、平成30年度の事業完了を図る。	浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するためには、下水道整備を推進する必要がある。沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。

41	ウラソエシ 浦添市公共下水道事業(牧港川排水区他) マキミナトガワ (浦添市) 【浦添市事業】	昭和47年度 34億円	牧港川排水区等における浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するため、下水道整備を図る。	事業を促進し、平成30年度の事業完了を図る。	浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するためには、下水道整備を推進する必要がある。沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
42	ナゴジ 名護市公共下水道事業(名護処理区) ナゴ (名護市) 【名護市事業】	昭和48年度 315億円	名護処理区における都市環境の整備と公衆衛生の向上に寄与するとともに、公共用水域の水質保全を図るため、下水道整備を図る。平成19年度における下水道処理人口普及率は約60%である。	事業を促進し、平成40年度の事業完了を図る。	快適な生活環境の確保と併せて、河川・海域等の水質保全を図り、豊かな自然環境を保全するためには、下水道整備を推進する必要がある。沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
43	ナゴジ 名護市公共下水道事業(志味屋排水区他) ナゴ (名護市) 【名護市事業】	昭和55年度 5. 9億円	志味屋排水区等における浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するため、下水道整備を図る。	事業を促進し、平成40年度の事業完了を図る。	浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するためには、下水道整備を推進する必要がある。沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
44	イトマン 糸満市公共下水道事業(糸満処理区) イトマン (糸満市) 【糸満市事業】	昭和54年度 276億円	糸満処理区における都市環境の整備と公衆衛生の向上に寄与するとともに、公共用水域の水質保全を図るため、下水道整備を図る。平成19年度における下水道処理人口普及率は約58%である。	事業を促進し、平成34年度の事業完了を図る。	快適な生活環境の確保と併せて、河川・海域等の水質保全を図り、豊かな自然環境を保全するためには、下水道整備を推進する必要がある。沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
45	イトマン 糸満市公共下水道事業(糸満排水区他) イトマン (糸満市) 【糸満市事業】	昭和54年度 7. 1億円	糸満排水区等における浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するため、下水道整備を図る。	事業を促進し、平成34年度の事業完了を図る。	浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するためには、下水道整備を推進する必要がある。沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
46	イトマン 糸満市公共下水道事業(双子橋排水区他) イトマン (糸満市) 【糸満市事業】	昭和54年度 9. 1億円	双子橋排水区等における浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するため、下水道整備を図る。	事業を促進し、平成34年度の事業完了を図る。	浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するためには、下水道整備を推進する必要がある。沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
47	イトマン 糸満市公共下水道事業(満橋排水区他) イトマン (糸満市) 【糸満市事業】	昭和54年度 2. 3億円	満橋排水区等における浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するため、下水道整備を図る。	事業を促進し、平成34年度の事業完了を図る。	浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するためには、下水道整備を推進する必要がある。沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
48	オキナワシ 沖縄市公共下水道事業(伊佐浜処理区) オキナワシ (沖縄市) 【沖縄市事業】	昭和39年度 330億円	中部流域下水道(伊佐浜処理区)の関連公共下水道として、都市環境の整備と公衆衛生の向上に寄与するとともに、公共用水域の水質保全を図るため、下水道整備を図る。平成19年度における下水道処理人口普及率は約94%である。	事業を促進し、平成40年度の事業完了を図る。	快適な生活環境の確保と併せて、河川・海域等の水質保全を図り、豊かな自然環境を保全するためには、下水道整備を推進する必要がある。沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
49	オキナワシ 沖縄市公共下水道事業(真志川処理区) オキナワシ (沖縄市) 【沖縄市事業】	昭和59年度 276億円	中城湾流域下水道(真志川処理区)の関連公共下水道として、都市環境の整備と公衆衛生の向上に寄与するとともに、公共用水域の水質保全を図るため、下水道整備を図る。平成19年度における下水道処理人口普及率は約94%である。	事業を促進し、平成42年度の事業完了を図る。	快適な生活環境の確保と併せて、河川・海域等の水質保全を図り、豊かな自然環境を保全するためには、下水道整備を推進する必要がある。沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。

50	オキナワシ 沖縄市公共下水道事業(安慶田排水区他) <small>(オキナワシ) (沖縄市) 【沖縄市事業】</small>	アゲダ 昭和48年度 358億円	安慶田排水区等における浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するため、下水道整備を図る。	事業を促進し、平成30年度の事業完了を図る。	浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するためには、下水道整備を推進する必要がある。沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
51	オキナワシ 沖縄市公共下水道事業(比屋根排水区他) <small>(オキナワシ) (沖縄市) 【沖縄市事業】</small>	ヒヤゴン 昭和59年度 118億円	比屋根排水区等における浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するため、下水道整備を図る。	事業を促進し、平成30年度の事業完了を図る。	浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するためには、下水道整備を推進する必要がある。沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
52	トミグスクシ 豊見城市公共下水道事業(那霸処理区) <small>(トミグスクシ) (豊見城市) 【豊見城市事業】</small>	ナハ 昭和56年度 238億円	中部流域下水道(那霸処理区)の関連公共下水道として、都市環境の整備と公衆衛生の向上に寄与するとともに、公共用水域の水質保全を図るため、下水道整備を図る。平成19年度における下水道処理人口普及率は約63%である。	事業を促進し、平成40年度の事業完了を図る。	快適な生活環境の確保と併せて、河川・海域等の水質保全を図り、豊かな自然環境を保全するためには、下水道整備を推進する必要がある。沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
53	トミグスクシ 豊見城市公共下水道事業(豊見城排水区) <small>(トミグスクシ) (豊見城市) 【豊見城市事業】</small>	トミグスク 昭和56年度 31億円	豊見城排水区における浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するため、下水道整備を図る。	事業を促進し、平成40年度の事業完了を図る。	浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するためには、下水道整備を推進する必要がある。沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
54	トミグスクシ 豊見城市公共下水道事業(上田排水区他) <small>(トミグスクシ) (豊見城市) 【豊見城市事業】</small>	ウエタ 昭和56年度 38億円	上田排水区等における浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するため、下水道整備を図る。	事業を促進し、平成40年度の事業完了を図る。	浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するためには、下水道整備を推進する必要がある。沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
55	うるま市公共下水道事業(石川処理区) <small>(うるま市) 【うるま市事業】</small>	イシカワ 昭和44年度 281億円	石川処理区における都市環境の整備と公衆衛生の向上に寄与するとともに、公共用水域の水質保全を図るため、下水道整備を図る。平成19年度における下水道処理人口普及率は約65%である。	事業を促進し、平成32年度の事業完了を図る。	快適な生活環境の確保と併せて、河川・海域等の水質保全を図り、豊かな自然環境を保全するためには、下水道整備を推進する必要がある。沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
56	うるま市公共下水道事業(具志川処理区) <small>(うるま市) 【うるま市事業】</small>	グシカワ 昭和59年度 535億円	中城湾流域下水道(具志川処理区)の関連公共下水道として、都市環境の整備と公衆衛生の向上に寄与するとともに、公共用水域の水質保全を図るため、下水道整備を図る。平成19年度における下水道処理人口普及率は約65%である。	事業を促進し、平成32年度の事業完了を図る。	快適な生活環境の確保と併せて、河川・海域等の水質保全を図り、豊かな自然環境を保全するためには、下水道整備を推進する必要がある。沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
57	うるま市公共下水道事業(東恩納排水区他) <small>(うるま市) 【うるま市事業】</small>	ヒガシオンナ 昭和54年度 18億円	東恩納排水区等における浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するため、下水道整備を図る。	事業を促進し、平成32年度の事業完了を図る。	浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するためには、下水道整備を推進する必要がある。沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
58	うるま市公共下水道事業(安慶名排水区他) <small>(うるま市) 【うるま市事業】</small>	アゲナ 昭和59年度 55億円	安慶名排水区等における浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するため、下水道整備を図る。	事業を促進し、平成32年度の事業完了を図る。	浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するためには、下水道整備を推進する必要がある。沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適當である。

59	アカミキ うるま市公共下水道事業(赤道排水区) (うるま市) 【うるま市事業】	昭和59年度 3. 3億円	赤道排水区における浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するため、下水道整備を図る。	事業を促進し、平成32年度の事業完了を図る。	浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するためには、下水道整備を推進する必要がある。沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
60	モトブチヨウ 本部町公共下水道事業(本部処理区) (本部町) モトブチヨウ 【本部町事業】	昭和48年度 155億円	本部処理区における都市環境の整備と公衆衛生の向上に寄与するとともに、公共用水域の水質保全を図るため、下水道整備を図る。平成19年度における下水道処理人口普及率は約62%である。	事業を促進し、平成37年度の事業完了を図る。	快適な生活環境の確保と併せて、河川・海域等の水質保全を図り、豊かな自然環境を保全するためには、下水道整備を推進する必要がある。沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
61	モトブチヨウ 本部町公共下水道事業(渡久地排水区) (本部町) モトブチヨウ 【本部町事業】	昭和56年度 6. 4億円	渡久地排水区における浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するため、下水道整備を図る。	事業を促進し、平成37年度の事業完了を図る。	浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するためには、下水道整備を推進する必要がある。沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
62	モトブチヨウ 本部町公共下水道事業(大浜排水区) (本部町) モトブチヨウ 【本部町事業】	昭和56年度 7. 6億円	大浜排水区における浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するため、下水道整備を図る。	事業を促進し、平成37年度の事業完了を図る。	浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するためには、下水道整備を推進する必要がある。沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
63	モトブチヨウ 本部町公共下水道事業(健堅排水区) (本部町) モトブチヨウ 【本部町事業】	昭和56年度 7. 8億円	健堅排水区における浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するため、下水道整備を図る。	事業を促進し、平成37年度の事業完了を図る。	浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するためには、下水道整備を推進する必要がある。沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
64	カデナチヨウ 嘉手納町公共下水道事業(伊佐浜処理区) (嘉手納町) カデナチヨウ 【嘉手納町事業】	昭和45年度 21億円	中部流域下水道(伊佐浜処理区)の関連公共下水道として、都市環境の整備と公衆衛生の向上に寄与するとともに、公共用水域の水質保全を図るため、下水道整備を図る。平成19年度における下水道処理人口普及率は約100%である。	事業を促進し、平成48年度の事業完了を図る。	快適な生活環境の確保と併せて、河川・海域等の水質保全を図り、豊かな自然環境を保全するためには、下水道整備を推進する必要がある。沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
65	チャタンチヨウ 北谷町公共下水道事業(伊佐浜処理区) (北谷町) チャタンチヨウ 【北谷町事業】	昭和45年度 213億円	中部流域下水道(伊佐浜処理区)の関連公共下水道として、都市環境の整備と公衆衛生の向上に寄与するとともに、公共用水域の水質保全を図るため、下水道整備を図る。平成19年度における下水道処理人口普及率は約97%である。	事業を促進し、平成48年度の事業完了を図る。	快適な生活環境の確保と併せて、河川・海域等の水質保全を図り、豊かな自然環境を保全するためには、下水道整備を推進する必要がある。沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
66	チャタンチヨウ 北谷町公共下水道事業(3号排水区他) (北谷町) チャタンチヨウ 【北谷町事業】	昭和53年度 1. 4億円	3号排水区等における浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するため、下水道整備を図る。	事業を促進し、平成30年度の事業完了を図る。	浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するためには、下水道整備を推進する必要がある。沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
67	チャタンチヨウ 北谷町公共下水道事業(5号排水区他) (北谷町) チャタンチヨウ 【北谷町事業】	昭和53年度 5. 7億円	5号排水区等における浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するため、下水道整備を図る。	事業を促進し、平成30年度の事業完了を図る。	浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するためには、下水道整備を推進する必要がある。沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。

68	チャタンチヨウ 北谷町公共下水道事業(10号排水区他) (北谷町) 【北谷町事業】	昭和53年度 22億円	10号排水区等における浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するため、下水道整備を図る。	事業を促進し、平成30年度の事業完了を図る。	浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するためには、下水道整備を推進する必要がある。沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
69	チャタンチヨウ 北谷町公共下水道事業(12号排水区他) (北谷町) 【北谷町事業】	昭和53年度 3.2億円	12号排水区等における浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するため、下水道整備を図る。	事業を促進し、平成30年度の事業完了を図る。	浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現するためには、下水道整備を推進する必要がある。沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
70	ハエバルチヨウ 南風原町公共下水道事業(那覇処理区) (南風原町) 【南風原町事業】	昭和54年度 167億円	中部流域下水道(那覇処理区)の関連公共下水道として、都市環境の整備と公衆衛生の向上に寄与とともに、公共用水域の水質保全を図るため、下水道整備を図る。平成19年度における下水道処理人口普及率は約52%である。	事業を促進し、平成40年度の事業完了を図る。	快適な生活環境の確保と併せて、河川・海域等の水質保全を図り、豊かな自然環境を保全するためには、下水道整備を推進する必要がある。沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。

(水道) 1件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興計画推進の視点からの評価
71	チャタンチヨウ 北谷町水道施設整備事業 (北谷町) 【北谷町事業】	平成16年度 12億円	給水人口及び給水量の増加等に対応するため、受水量の增量に伴う配水池、管路等の整備を推進する。	施設整備を促進し、平成25年度の事業完了を図る。	水需要の増加等に対応し、水道水の安定供給を図るための整備を推進する事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。

(農業農村整備) 2件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興計画推進の視点からの評価
72	県営かんがい排水事業「カンジン2期地区」(久米島町) 【県事業】	平成10年度 36億円	久米島の南西部に位置する畠地地帯であり、かんがい施設の整備を図ることにより、生産の安定や野菜・花き等への転換に資する。	事業を促進し、平成21年度での事業完了を図る。	農業生産性の向上や農業経営の安定に資する事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
73	県営畠地帯総合整備事業「寄草地区」 (粟国村) 【県事業】	平成10年度 15億円	さとうきびを中心とした農業を開拓しているが、ほ場の区画整理によって農地の集積を行い、農業機械の稼働効率を高めるとともに、貯水池を整備して事業を促進し、雨水及び地表水を集水し、農業用水として利用する。	事業を促進し、平成21年度での事業完了を図る。	農業所得の向上や農業経営の安定に資する事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。

## 新規採択事業

## 1 直轄事業 1件

(農業農村整備)

番号	事業名	費用便益比	備考
1	国営かんがい排水事業「宮古伊良部地区」(宮古島市) ※当該事業の費用便益比は、平成20年8月公表の数値。	1.12	

## 2 補助事業 24件

(治水)

番号	事業名	費用便益比	備考
2	アサト 安里地区地すべり対策事業(中城村)	1.2	県事業

(海岸)

番号	事業名	費用便益比	備考
3	沖縄県海岸堤防等老朽化対策緊急事業(松田瀬原海岸)(宜野座村)	5.0	県事業

(港湾海岸)

番号	事業名	費用便益比	備考
4	ナカグスク 中城湾港海岸老朽化対策緊急事業(うるま市)	6.1	県事業
5	ヒラコウ 平良港海岸老朽化対策緊急事業(宮古島市)	2.4	宮古島市事業
6	アゴ ウラ 安護の浦港海岸老朽化対策緊急事業(座間味村)	1.7	県事業

(道路整備・都市環境整備事業)

番号	事業名	費用便益比	備考
7	モトブ モトブチョウ 国道449号 本部北道路(本部町)	3.9	県事業
8	ナハ キタナカグスク ニシハラチョウコウチ ニシハラチョウオナガ ニシハラチョウ 原町) 主要地方道 那覇北中城線(西原町幸地～西原町翁長)(西原町)	1.8	県事業
9	ウラソエニシハラ ニシハラチョウオナガ ニシハラチョウカデカル ニシハラチョウ 原町) 主要地方道 浦添西原線(西原町翁長～西原町嘉手苅)(西原町)	4.8	県事業
10	テラオナガナハシ 汀良翁長線(那覇市)	1.8	県事業
11	ウラソエニシハラ ナハシ ウラソエシ 浦添西原線 他3線(那覇市、浦添市)	1.5	県事業
12	ミタンオオワニガシ 読谷大湾東 地区土地区画整理事業(読谷村)	3.9	読谷大湾東地区土地 区画整理組合事業
13	アゲダ オキナワシ 安慶田地区土地区画整理事業(沖縄市)	1.5	沖縄市事業

(港湾)

番号	事業名	費用便益比	備考
14	キンワンコウ ヘンザ ミナミ 金武湾港平安座南地区航路整備事業(-3.0m)(うるま市)	3.1	県事業
15	ミナミダイイトウコウカメイケ 南大東港亀池地区離島ターミナル改良事業(-5.5m)(南大東 ウソン村)	2.0	県事業

## (水道)

番号	事業名	費用便益比	備考
16	水道施設整備事業(竹富町) タケトミチョウ	3.6	竹富町事業

## (農業農村整備)

番号	事業名	費用便益比	備考
17	かんがい排水事業読谷中部地区(読谷村) ヨミタンチュウブ ヨミタンソン	1.38	県事業
18	かんがい排水事業錢田地区(久米島町) ゼンダ クメジマチョウ	2.02	県事業
19	かんがい排水事業マクソコ地区(宮古島市) ミヤコジマシ	1.01	県事業
20	かんがい排水事業洲鎌上地地区(宮古島市) スガマウエチ ミヤコジマシ	1.30	県事業
21	かんがい排水事業西原東地区(宮古島市) ニシハラヒガシ ミヤコジマシ	1.14	県事業
22	畠地帯総合整備事業西原第1(Ⅱ期)地区(宮古島市) ニシハラダイイチ ミヤコジマシ	1.14	県事業
23	畠地帯総合整備事業島中地区(宮古島市) シマナカ ミヤコジマシ	1.01	県事業
24	畠地帯総合整備事業喜屋武第3地区(糸満市) キヤンダイサン イトマンシ	1.28	県事業

## (水産基盤整備)

番号	事業名	費用便益比	備考
25	平敷屋地区地域水産物供給基盤整備事業(うるま市) ヘシキヤ	1.37	県事業